

令和
7年度

酒々井の町づくり

決算の説明

主な事業内容を説明します

人 自然 歴史 文化 が調和した

活力あふれるまち 酒々井

目 次

事業別概要	
議会事務局	1
総務課	1
くらし安全協働課	3
税務住民課	6
企画財政課	7
会計室	9
健康福祉課(保健センター含む)	10
こども課(保育園含む)	22
文化観光課	26
経済環境課	27
農業委員会事務局	31
まちづくり課	31
上下水道課	36
学校教育課(給食センター含む)	36
生涯学習課(中央公民館・プリミエール酒々井含む)	39
特別会計(水道事業会計・下水道事業会計除く)	
国民健康保険特別会計(健康福祉課)	44
介護保険特別会計(健康福祉課)	44
後期高齢者医療特別会計(健康福祉課)	46

7つの基本目標ごとに取り組んでいきます。

- 目標① 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）
- 目標② 人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり（教育・文化）
- 目標③ 豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり（生活安全）
- 目標④ 自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり（環境共生）
- 目標⑤ 便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり（都市基盤）
- 目標⑥ 活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり（産業・経済）
- 目標⑦ 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり（地域生活・行財政）

予算事業別概要の標記について

◆事業名(款項目事業番号) R7 年度決算額(R7 年度当初予算額)

【財源内訳】※特定財源がある場合には、その歳入名称及び額。

・財源内訳は、国県支出金、地方債、その他特財(使用料・手数料、分担金、負担金、寄附金、繰入金、諸収入等)です。

・一般財源とは、「〇〇〇事業」に係る財源内訳のうち、皆様から納められる税金や地方交付税等です。

【事業概要】の記載項目は、主なものであり、合計と予算額は一致しない。

(予算額等は、千円単位の数字)

■議会事務局

◆議員報酬（1-1-1-2） 84,024（86,596）

【一般財源：84,024】

【事業概要】目標⑦

町議会議員報酬に要する経費等です。

○議員報酬 50,388 ○期末手当 19,451

○議員共済会負担金 14,185 地方議会議員年金制度廃止後の既受給者に対する公費負担

◆議会運営事業（1-1-1-3） 6,181（6,934）

【一般財源：6,181】

【事業概要】目標⑦

より開かれた議会を実現するため、議会だよりの内容を充実させるとともに、正確な記録の管理、正確な情報伝達を図り、インターネット上に会議録や本会議の中継動画を公開することにより、議会を傍聴できない方にも配慮した情報公開に努めていきます。

○議会だより作成事業 1,273 町民に議会活動を周知します。（年4回）

○会議録作成事業 1,180 議会定例会・臨時会ごとに会議録を作成し、ホームページで公開します。

○議会中継事業 1,514 インターネットによる議会中継を配信します。

■総務課

◆総務一般事務費（2-1-1-1） 25,235（27,032）

【その他特財：1,607 一般財源：23,628】

【事業概要】目標⑦

総務一般事務費は、人事管理に要する経費、職員の福利厚生及び衛生管理に要する経費、職員研修に要する経費、秘書事務に要する経費、自治功労者表彰に要する経費等です。

○人事給与 2,057 ○会計年度任用職員 869 ○勤休管理 792 各システム賃借及びシステム改修費、職員の人事記録及び給与、会計年度任用職員の管理、職員の勤怠管理に関するシステムの賃借料等です。

○職員定期健康診断業務 2,190 労働安全衛生法等に基づく職員の定期健康診断等に係る経費です。

○電話交換委託業務 6,600 役場代表電話の受電を内線電話へ引き継ぐため、電話交換業務を委託しました。

○各種団体等負担金及び補助金（職員研修参加負担金を除く）1,186 県町村会等各種団体に係る負担金及び補助金の経費です。

○職員研修委託業務 857 及び職員研修参加負担金 813 職員の能力及び資質向上を図るため、庁内での研修の実施及び各種研修施設での研修に職員を派遣しました。

○町表彰関係費 259 文化の日に町自治功労者等の表彰を行いました。

◆文書管理事業（2-1-2-7） 328（385）

【一般財源：328】

【事業概要】目標⑦

本庁及び出先機関からの郵便、郵送料です。



◆法規関係事業（2-1-2-8） 3,718（3,718）

【一般財源：3,718】

【事業概要】目標⑦

町例規システムの運用に要する経費、個人情報取扱業務システムに要する経費、法令図書の追録及び購入を行いました。

◆情報化推進事業（2-1-7-1） 55,257（62,209）

【その他特財：3,406 一般財源：51,851】

【事業概要】目標⑦

自治体 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、高度情報化社会に対応した効率的な行政と住民サービスの向上を図るため、必要なハードウェアやソフトウェアの運用及び維持管理を行いました。また、町ホームページを積極的に活用して町内外に広く行政情報を発信できるようシステムの運用・管理を行いました。

◆選挙管理委員会運営事業（2-4-1-1） 4,269（4,341）

【国県支出金：1 その他特財：2,299：一般財源：1,969】

【事業概要】目標⑦

適正な執行体制を構築するための委員会を年4回開催しました。また、システムによる選挙人名簿の管理及び運用を行いました。

◆参議院議員選挙事業（2-4-2-1） 7,148（7,077）

【国県支出金：6,577 一般財源：571】

【事業概要】目標⑦

参議院議員通常選挙の執行に要する経費です。

◆酒々井町町長選挙事業（2-4-3-1） 4,811（5,847）

【一般財源：4,811】

【事業概要】目標⑦

酒々井町町長選挙の執行に要する経費です。

◆衆議院議員選挙事業（2-4-4-1） 4,936（0）

【国県支出金：4,936】

【事業概要】目標⑦

衆議院議員総選挙の執行に要する経費です。

◆監査運営事業（2-6-1-1） 693（693）

【一般財源：693】

【事業概要】目標⑦

町の財務事務や経営に係る事業の管理等が法令に従って適切に行われているか等を確認するため、出納検査及び監査を実施しました。

■くらし安全協働課

◆防犯事業（2-1-1-4） 1,968（2,501）

【国県支出金：577 一般財源：1,391】

【事業概要】目標③

自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視を実施しました。また、自治会等が設置する防犯カメラの支援を行うとともに、「防犯・交通出前講座」を実施し、地域防犯力の向上と女性や子どもをはじめ、住民が安全に安心して暮らせる地域づくりを推進しました。

※防犯カメラの支援：2 地区（2 件）

※防犯・交通出前講座：7 地区で実施（5.6.7.8.9.12.3 月）

◆防犯ボックス事業（2-1-1-11） 7,669（7,434）

【国県支出金：3,000 その他特財：4,432 一般財源：237】

【事業概要】目標③

警察官OBを配置した防犯ボックスを運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視を実施するとともに、犯罪情報等の情報発信を行い地域防犯力の向上を図り、住民が安全に安心して暮らせる地域づくりの推進を図りました。

※警察官OB：2 名

※合同防犯パトロールや見守り：12 地区（434 件）

◆交通安全推進啓発事業（2-1-8-1） 604（710）

【国県支出金：97 一般財源：507】

【事業概要】目標③

警察や交通安全団体と連携して、交通安全教室の開催や全国交通安全運動に合わせ交通安全啓発キャンペーン等を実施しました。また、町民の自転車乗車用ヘルメットの着用促進を図るため、ヘルメット購入費の一部を補助しました。

※ヘルメット購入費：194 千円（105 件）

◆防災一般事務費（2-1-9-1） 13,328（4,609）

【国県支出金：5,000 一般財源：8,328】

【事業概要】目標③

住民参加型の避難所開設・運営訓練や災害対策本部訓練など防災体制確立のための防災訓練を実施しました。また、住民による自助・共助の推進を図るため、町民や自治会を対象に「ぼうさい出前講

座」を実施しました。

指定避難所となっている小中学校の体育館へ、避難所の生活環境向上のためのスポットクーラー7台を整備しました。

※避難所開設・運営訓練：7カ所で実施（5月・6月）

※ぼうさい出前講座：7地区で実施（5.7.8.9.11.1月）

◆防災行政無線管理整備事業（2-1-9-2） 8,998（9,129）

【地方債：3,100 一般財源：5,898】

【事業概要】目標③

防災行政無線設備の正常な機能を維持し、故障等の発生を未然に防止することを目的に保守点検業務を行うとともに、メール機能を利用して防災情報等を配信しました。また、全国瞬時警報システム受信機更新整備工事を実施しました

◆自治振興事業（2-7-1-1） 7,014（7,164）

【一般財源：7,014】

【事業概要】目標⑦

区・自治会など住民自治の振興を図るとともに、行政の円滑な運営と町民福祉の増進を図るために助成金を交付し自治会活動を支援しました。

○自治振興助成金 5,685（5,799）

○行政協力金 1,320（1,353）

◆住民協働一般事務費（3-1-7-1） 304（335）

【その他特財：63 一般財源：241】

【事業概要】目標⑦

住民協働事務に係る経費として、男女共同参画講演会の講師謝礼、コミュニティ備品を購入しました。

◆生きがい創造支援事業（3-1-7-5） 1,400（1,400）

【一般財源：1,400】

【事業概要】目標①

高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かすための就業を援助し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実に向けて支援しました。

○シルバー人材センター補助金 1,320（1,320）

○千葉県シルバー人材センター連合会賛助会員負担金 80（80）



◆公園等愛護活動推進事業（3-1-7-7） 1,930（2,099）

【一般財源：1,930】

【事業概要】目標⑦

町が管理する都市公園等について地域住民が主体となって実施する環境美化活動及び施設の保全維持管理活動を支援しました。また、花植を行う団体に、年2回以内で花苗を支給する「花いっぱい



運動」を行いました。

○公園等愛護活動推進事業 1,597 (1,649) ○花いっぱい運動 333 (450)

◆資材等支給事業 (3-1-7-8) 221 (505)

【一般財源：221】

【事業概要】目標⑦

地域住民等が自ら施工する生活環境の整備工事等について、住み良い住環境整備の推進及び地域住民等の連携を図るため、必要な資材等を支給しました。

◆地区集会所等補助事業 (3-1-7-9) 14,805 (12,470)

【その他特財：2,500 一般財源：12,305】

【事業概要】目標⑦

地域住民の自治活動の場としての集会所等の維持・管理等に要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の推進を図りました。また、上本佐倉自治会館は、昭和48年に建築され50年以上が経過し、施設の老朽化が著しいことから地域住民の総意により建て替えが行われ、建設経費及びコミュニティ活動備品購入の一部を補助しました。

○地区集会所等管理費補助金 870 (870) ○地区集会所等修繕費及び増改築費補助金 1,435 (1,600)

○コミュニティ施設整備事業補助金 10,000 (10,000) ○コミュニティ助成事業補助金 2,500 (2,500)

◆酒々井の里山林協働再生事業 (3-1-7-10) 123 (210)

【一般財源：123】

【事業概要】目標⑦

環境保全や景観形成、町内の山林等から排出される樹木・竹等の有効利用を目的に、町で所有している樹木粉碎機を町内の環境保全団体等に貸し出しました。

◆地域活動拠点施設運営事業 (3-1-7-16) 214 (246)

【その他特財：9 一般財源：205】

【事業概要】目標⑦

住民によるまちづくりを推進するため、下宿ベース（地域活動拠点施設）の管理運営を行いました。

◆公共活動広場用地管理事業 (3-1-7-17) 778 (1,129)

【一般財源：778】

【事業概要】目標⑦

住民が利用できる広場として整備予定の土地の維持管理を行いました。

○除草業務 715 (737) ○樹木伐採業務 0 (264)



◆佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金 (8-1-1-1) 530,932 (530,932)

【一般財源：530,932】

【事業概要】目標③

消防組合の運営に係る負担金を納入しました。（構成市町：佐倉市、八街市、酒々井町）

◆非常備消防一般事務費（8-1-2-1） 4,086（4,163）

【一般財源：4,086】

【事業概要】目標③

消防関係団体に対する負担金等を交付しました。

◆消防団事業（8-1-2-2） 8,622（9,941）

【一般財源：8,622】

【事業概要】目標③

地域の安全確保に大きな役割を果たしている消防団員の資質・消防技術の向上を図るため、消防操
法訓練をはじめ各種訓練を実施しました。また、地域防災の中核を担う消防団員の確保、育成に努め
ました。 ※新規入団員 9 名

◆消防施設事業（8-1-2-3） 21,822（3,405）

【国県支出金：111 地方債 19,000 一般財源：2,711】

【事業概要】目標③

消防団装備品や消防機庫、消防車、防火水利等の維持管理を行いました。

※令和 6 年度から繰越をした消防小型ポンプ積載車購入（19,224）

第 8 分団（中川地区）第 11 分団（伊篠地区）

◆水防事業（8-1-3-1） 623（625）

【一般財源：623】

【事業概要】目標③

水防関係団体に対する負担金を交付しました。

■税務住民課

◆税務一般事務費（2-2-1-1） 725（842）

【その他特財：25 一般財源：700】

【事業概要】目標⑦

町税は、住みよいまちづくりのための財源として重要な役割を果たしています。当事業では、町税
の適正な賦課と公正な徴収を行うため、税務全般にかかる事務を行いました。

◆賦課徴収事業（2-2-2-1） 82,832（90,662）

【国県支出金：35,338 その他特財：6,393 一般財源：41,101】

【事業概要】目標⑦

町税の賦課徴収事業は、住みよいまちづくりのために大きな役割を担っています。各種課税客体の
調査等による正確で適正な課税と、公平で公正な税負担のために必要な収納・徴収事務を行いました。

○会計年度任用職員報酬 4,046 ○町税賦課徴収電算業務 13,913

○固定資産税土地評価業務 18,464 ○税込システム標準化移行支援業務 12,268

◆戸籍住民基本台帳一般事務費（2-3-1-1） 77,247（80,480）

【国県支出金：14,669 その他特財：23,343 一般財源：39,235】

【事業概要】目標⑦

親族的身分関係を登録・公証する「戸籍」の適正な処理と、住民の居住関係の公証や各種行政サービスの基礎となる「住民基本台帳」の正確な管理を行いました。

また、国が推進するマイナンバーカードの交付・更新事務と県民の利便性に配慮した旅券事務を適切に処理しました。

*戸籍届出件数	7 9 2 件
*転入届件数	1, 6 6 4 件
*転出届件数	1, 7 2 8 件
*証明書発行件数	
戸籍	5, 7 4 6 件
住民票	1 1, 0 2 0 件
印鑑証明書	5, 0 4 8 件
*マイナンバーカード交付件数	2, 7 9 9 件
*パスポート交付数	2 9 8 件

■企画財政課

◆広報広聴事業（2-1-2-2） 4,572（5,549）

【その他特財：614 一般財源：3,958】

【事業概要】目標⑦

町民がまちづくりに自主的に参加しやすいものとなるよう、行政情報の積極的な提供を通じて、町民と町との情報の共有と相互理解を深め、町民参加のまちづくりを進めるため、正確かつタイムリーな行政情報や町民参加の各種イベントなどを掲載した「広報ニューしすい」を毎月1回発行しました。

また、各種イベントや耳より情報、防災など町の旬な情報を発信していくことを目的に「町公式X」、「町公式LINE」及び「JR酒々井駅西口デジタルサイネージ」を活用しながら情報提供の充実を図りました。



◆財政一般事務費（2-1-3-1） 109,037（12,582）

【その他特財：104,279 一般財源：4,758】

【事業概要】目標⑦

予算の編成、地方交付税、地方債等の町の財政全般の事務を行います。

○財務会計システム使用料及び賃借料 3,010

◆管財一般事務費（2-1-3-4） 9,771（10,391）

【その他特財：12 一般財源：9,759】

【事業概要】目標⑦

庁舎内で使用する共通事務用品等の購入及び事務機器等の管理並びに電子入札システムを千葉県と県内各市町村の共同で運営しました。

○町有バスの運行について運転手の雇用に関する経費 1,567

○電子入札システムを千葉県と県内各市町村の共同で運営（ちば電子調達システム使用料 1,496）

◆施設管理一般事務費（2-1-3-5） 2,229（2,881）

【その他特財：11 一般財源：2,218】

【事業概要】目標⑦

会計年度任用職員を採用し、公共施設マネジメントを進めました。

○会計年度任用職員 2,881

◆町有財産管理事業（2-1-5-1） 3,066（2,789）

【その他特財：491 一般財源：2,575】

【事業概要】目標⑦

普通財産用地の維持管理、町有建物災害共済保険への加入を行いました。

○町有財産境界確定測量業務委託 308 ○町有地管理業務 320

○町有建物災害共済保険料 2,439

◆庁舎管理事業（管財）（2-1-5-2） 22,506（21,425）

【その他特財：179 一般財源：22,327】

【事業概要】目標⑦

役場庁舎及び付帯施設の維持管理のため、修繕や各種設備保守・点検、夜間警備、清掃業務等の委託及び光熱水費や電話料等の支払いを行いました。

○光熱水費 9,804（電気代、ガス代、上下水道料金、暖房用灯油代）

○修繕料 1,724（中央庁舎屋上雨水排水ドレン配管工事他）

○清掃業務 3,067

◆庁舎管理事業（施設管理）（2-1-5-3） 998（1,196）

【一般財源：998】

【事業概要】目標⑦

○予防保全のため、役場西庁舎（2F 第1会議室）の空調設備更新工事 999

◆自動車管理事業（2-1-5-4） 8,044（8,547）

【国県支出金：15 一般財源：8,029】

【事業概要】目標⑦

公用車及び町有バスの車検・法定点検、修理等の維持管理、燃料費の支払い並びに自動車共済保険等の損害保険に加入し、運行管理と安全運転の確保に努めました。

○自動車整備費 2,854（車検 28 台、法定点検他） ○自動車燃料費 2,519（ガソリン等約 1,226ℓ/月）

○自賠責保険料 449（車検 28 台＋ホイールローダー1 台）、自動車損害保険料 1,156（40 台）

○町有バス賃借料 237 ○モビリティパスポート使用料 357 ○自動車重量税（車検 28 台） 470



◆企画一般事務費（2-1-6-1） 29,266（30,385）

【その他特財：18,998 一般財源：10,268】

【事業概要】目標⑦

第6次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、前期基本計画に基づく各施策の効果的な推進を図るとともに町の施策や魅力等を町内外に広く情報を発信し、交流・関係人口増加や定住促進を図りました。

○印旛郡市広域市町村圏事務組合の管理運営等に係る負担金 7,480

構成市町：成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、栄町、酒々井町

○ふるさと納税事業 4,539 返礼品のPR・発送を行うとともに、新規開拓等を行いました。

○ふるさと基金積立 10,129 ふるさと納税寄附金について、将来の活用に備え基金に積み立てました。

○第6次町総合計画後期基本計画策定事業 5,853 町民意識調査等の基礎調査等を行いました。

◆統計調査一般事務費（2-5-1-1） 4（16）

【国県支出金：1 一般財源：3】

【事業概要】目標⑦

○千葉県統計協会負担金 3 統計思想の普及を図るとともに、統計事務の改善に寄与することを目的とする事業です。

◆各種統計調査事業（2-5-2-1） 10,718（10,079）

【国県支出金：10,718】

【事業概要】目標⑦

○千葉県毎月常人口調査（毎月） ○千葉県年齢別・町丁字別人口調査（令和7年4月1日）

○学校基本調査（令和7年5月1日） ○経済センサス調査区管理（令和7年6月1日）

○2025年農林業センサス（令和7年2月1日） ○令和7年国勢調査（令和7年10月1日）

○令和8年経済センサスー活動調査準備（令和8年6月1日） ※（ ）内は、調査期日

◆印旛広域水道事業（4-2-1-1） 14,116（14,123）

【地方債：13,800 一般財源：316】

【事業概要】目標⑦

印旛郡市広域市町村圏事務組合が構成市町への水道用水の安定供給、効率的な事業運営を行うための経費に係る負担金及び出資金を支出しました。

○出資金 14,064 ○負担金 52

■会計室

◆会計一般事務費（2-1-4-1） 4,028（5,709）

【国県支出金：231 一般財源：3,797】

【事業概要】目標⑦

公金・有価証券等の出納と保管、現金・財産の記録と管理及び決算の調製を行いました。

健康福祉課



◆社会福祉一般事務費（3-1-1-1） 71,333（74,185）

【国県支出金：12 その他特財：300 一般財源：71,021】

【事業概要】目標①

○ふれ愛タクシー運行事業 31,058 住民の移動手段となるふれ愛タクシーを酒々井町社会福祉協議会に委託し運行しました。

- ・運行台数 3台（10人乗り2台、13人乗り1台）
- ・利用料（利用券事前購入） 町内（さくら斎場含む）1回につき300円
町外（成田赤十字病院と日本医科大学千葉北総病院のみ）
1回につき500円
- ・利用時間 午前8時から午後5時 ・運行日数 243日 ・利用者延べ人数 11,200人

○社会福祉事業委託業務 5,614

○福祉団体助成事業 30,348 福祉団体の活動を支援するため助成しました。

- ・蛭雪学園運営補助金 500
- ・酒々井町更生保護女性会補助金 50
- ・酒々井町遺族会補助金 100
- ・酒々井町社会福祉協議会事業補助金 29,698

○社会福祉施設整備事業資金利子補給 289

社会福祉施設の整備の促進と福祉の増進のため、町内に社会福祉施設を設置している社会福祉法人が独立行政法人福祉医療機構から借り入れた社会福祉施設整備資金に関わる令和7年度中に支払った対象資金の利子の総額の2分の1の額（千円未満の端数は切り捨て）を補給しました。

- ・対象施設 児童養護施設蛭雪学園（改築）
- ・利子補給期間 令和2年度から令和20年度まで 総額 3,841

○成年後見人等報酬扶助 954 町長が行った成年後見等開始申立の審判請求により家庭裁判所が選任した成年後見人等に対する報酬の全額又は一部を扶助しました。

- ・扶助上限額 施設入所（月額）18、在宅（月額）28
- ・対象者・扶助額（後見）施設入所2人 470、（補助→保佐）在宅1人 484

◆民生委員児童委員活動事業（3-1-1-2） 1,269（1,348）

【国県支出金：238 一般財源：1,031】

【事業概要】目標①

町民の心配ごとなどを解決するために、専門機関の紹介や行政とのパイプ役として、子どもから高齢者までの相談役となっている民生委員児童委員の活動を支援しました。

令和7年12月に3年に1度の民生委員児童委員の一斉改選が行われました。

- ・民生委員児童委員（定数）37人（委嘱数）28人（欠員）9人
- ・主任児童委員（定数）2人（委嘱数）2人

○酒々井町民生委員児童委員協議会補助金 304

◆障害者福祉事業（3-1-1-6） 51,512（57,264）

【国県支出金：3,615 その他特財：4,052 一般財源：43,845】

【事業概要】目標①

- 福祉団体助成事業 400 福祉団体の酒々井町手をつなぐ親の会の活動を支援するため助成しました。
- 障害者グループホーム等入所者家賃助成事業 3,245 障害者グループホーム等に入居している障害のある方に対し、経済的負担の軽減を図るため家賃の一部を助成しました。
- ・対象条件 市町村民税非課税世帯に属する者、生活保護を受けていないこと
 - ・助成額 入居者が負担する家賃の2分の1（限度額 月額25）。ただし、障害者総合支援法施行令に規定する特定障害者特別給付費(※)が支給される場合は、対象経費からその額を控除した額の2分の1（限度額20）。
- (※)特定障害者特別給付費
- 国が低所得の障害者グループホーム等の入居者の家賃について、月額1万円（1万円未満の場合はその実額）を補助する制度
- ・対象者 22人（全員が特定障害者特別給付費対象者） ・利用施設数 21カ所
- 障害者グループホーム運営費補助金 1,790 障害者の地域生活移行の促進を図るため、障害者グループホームを設置・運営する者に対し、運営に要する経費を補助しました。
- ・対象者 グループホームを運営する者で、グループホームの住居定員が6人以下であり、町が援護する障がい者が入居していること
 - ・対象経費 グループホームの運営に要する経費（人件費含む。ただし、入居者が負担する食材寮費、家賃及び光熱水費等を除く。）
 - ・補助対象数 9カ所
- 指定難病見舞金支給事業 4,884 千葉県が発行している指定難病受給者証や小児慢性特定疾病医療受給者証を所持している方に見舞金（月額3,000円）を支給しました。
- ・支給者数 指定難病 147人、小児慢性特定医疾病受給者証所持者 12人
- 重度心身障害者医療費助成事業 27,156 重度の障がい者の経済的負担の軽減を図るため、医療費の自己負担分の一部を助成しました。
- ・対象者 1級又は2級の身体障害者手帳所持者、Aの2以上の療育手帳所持者、1級の精神障がい者保健福祉手帳所持者
- ※ただし、一定の所得以上の方と65歳以上で新たに助成対象の障害者手帳が交付された者を除きます。
- ・対象者数 199人 ・支給件数 のべ5,527件
- ねたきり身体障害者・重度知的障害者福祉手当支給事業 1,142 ねたきりの身体障がい者や重度の知的障がい者に福祉手当を月額8,650円支給しました。
- ・対象者 6か月以上ねたきり状態の20歳以上65歳未満の身体障がい者、在宅で常時介護を必要とする20歳以上で療育手帳Aの2以上の知的障がい者
- ※ただし、障害児福祉手当・特別障害者手当等の受給者は除きます。
- ・支給者数 11人 ・支給件数 のべ132件
- 福祉タクシー事業 433 重度の身体障がい者や知的障がい者がタクシーを利用する場合、1,000円を上限に料金の1/2を助成する割引券を年間30枚（透析患者は60枚）を交付しました。
- ・利用者 1級又は2級の身体障害者手帳所持者（下肢、体幹、視覚障害者は3級も対象）、Aの2以上の療育手帳所持者
 - ・利用件数 のべ560人
- 紙おむつ支給事業 1,906 身体障害者手帳や療育手帳を所持し、在宅で紙おむつ等を使用している方を対象に、1月あたり3,000円分の助成券を支給しました。

・利用者数 身体障害者手帳所持者 59 人、療育手帳所持者 16 人

◆障害者総合支援事業（3-1-1-7） 589,140（558,140）

【国県支出金：440,515 その他特財：558 一般財源：148,067】

【事業概要】目標①

障がい者に介護給付費、訓練等給付費、障害者医療費、補装具費を給付しました。

対象者 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、難病等の方

○障害者介護給付費等審査会委員報酬 860 町は障がい者等の障害福祉サービスの必要性を明らかにするために、障がい者等の心身の状態を総合的に示す障害支援区分を審査判定する審査会を設置しています。

・委員構成 委員長、委員 4 人 ・開催回数 9 回

○地域生活支援事業 16,932 障がい者の生活を支援するため各種サービスを行いました。

- ・意思疎通支援（449）利用者数 5 人、利用回数 41 回
- ・相談支援（7,938）利用者数 501 人、利用回数 4,886 回
- ・地域活動支援センター（441）利用者数 2 人 利用回数 38 回
- ・手話奉仕員養成研修（300）参加者数 2 人
- ・日常生活用具給付等利用者数（3,677）36 人内訳：ストマ 34 人、特殊マット 1 人、頭部保護帽 1 人
- ・日中一時支援（1,624）利用者数 15 人 利用回数 349 回
- ・地域活動支援事業センター（567）利用者数 3 人 利用回数 93 回
- ・移動支援（531）利用者数 3 人 利用回数 105 回
- ・訪問入浴サービス（1,405）利用者数 3 人 利用回数 121 回

○障害児給付費 135,857 児童発達支援、放課後等デイサービス等の障害児通所支援を行いました。

・利用者数 児童発達支援 のべ 535 人、放課後等デイサービス のべ 1,047 人

○補装具費 2,583 義肢や車椅子等、障がい者等の身体機能を補完・代替し、長期間に使用される補装具購入費等の費用を所得に応じて支給しました。

・支給件数 25 件

○介護給付費、訓練等給付費 382,359 【介護給付費】：居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、施設入所支援、【訓練等給付費】：自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、自立生活援助、共同生活援助について給付しました。

○障害者医療費 35,957 身体の障害を除去・軽減するための医療について、自己負担分の医療費を助成しました。

・利用件数 のべ 68 件

・利用者数 育成医療 入院、通院共に利用者なし。

更生医療 入院 のべ 18 人、通院 のべ 47 人

療養介護医療 3 人

◆価格高騰重点支援事業給付金（令和 6 年度非課税世帯及びこども加算）

（3-1-1-17） 10,375（0）

【国県支出金：10,375】

【事業概要】目標①

国の総合経済対策を踏まえ、低所得者支援として価格高騰重点支援給付金について、令和6年度市町村民税均等割が非課税である世帯の場合は1世帯当たり3万円、子ども加算の場合は支給対象となる世帯内で扶養されている18歳以下の子1人当たり2万円を支給しました。

- ・支給額 令和6年度市町村民税均等割非課税世帯 149世帯 4,470
- 子ども加算世帯 16世帯 対象児童 31人 620

◆定額減税補足給付金（不足額給付）(3-1-1-16) 62,467 (0)

【国県支出金：62,467】

【事業概要】目標①

令和6年度に定額減税（所得税3万円、住民税1万円）をしきれない方を対象に定額減税補足給付金（調整給付）を支給しました。その際、令和5年所得等をもとにした推計額（令和6年分推計所得税額）を用いて算定したため、令和6年分所得税や定額減税の実績額が確定した後に、「本来給付すべき額」と「実際に給付した額（調整給付）」との間で差額（不足）が生じた方に、不足する額を1万円単位で支給しました。

- ・支給数 2,060人
- ・支給額 56,060

◆老人福祉事業 (3-1-2-1) 28,606 (25,964)

【その他特財：4,486 一般財源：24,120】

【事業概要】目標①

○老人福祉大会、80歳の青年式事業については、町水仙クラブ（老人クラブ）や町民生委員児童委員協議会、参加団体である町婦人会による懇談会を開催し、開催方法や名称等を見直して実施しました。

- ・米寿を祝う会 924 町は年度中に88歳を迎える方を対象に「米寿を祝う会」を酒々井町社会福祉協議会と共催で実施しました。また、記念品として、町から記念写真撮影クーポンを全員に配布し、酒々井町社会福祉協議会からはギフトカタログを全員に贈りました。

対象者 120人 参加者 30人 記念写真贈呈 52人

- ・80歳の青年式 50 町は年度中に80歳を迎える方を対象に「80歳の青年式」を実施しました。

対象者 237人 参加者 47人

○結婚50周年夫婦記念品支給事業 391 婚姻後50周年を迎えたご夫婦34組に対し、記念品として記念写真を贈りました。

○生きがいデイサービス事業 3,775 介護保険の認定を受けていない60歳以上の方で自ら通えることができる方を対象に、隣保館と中央公民館を会場に毎週火曜日・水曜日・金曜日にそれぞれ定員30名の生きがいデイサービス事業を行いました。

- ・参加者数 のべ1,631人

○特別養護老人ホーム入所 572 当町の高齢者について、生命・身体に重大な危険が生じるおそれがあったことから、老人福祉法の規定にもとづき特別養護老人ホームに措置入所を行いました。

- ・対象者 2名
- ・措置期間 令和7年2月～5月

○緊急通報装置貸与事業 3,752 65歳以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの重度身体障がい者、高齢者世帯で世帯に属する者のいずれかが介護認定者又は重度身体障がい者である世帯など83人に緊急通報装置を貸与しました。

- 酒々井町水仙クラブ連合会補助金 1,067 水仙クラブ連合会の活動を支援するため助成しました。
・クラブ数 15 クラブ ・会員数 196 人
- はり・きゅう・マッサージ等施術利用料助成事業 4,928 65 歳以上の方を対象にはり・きゅう・マッサージ等の施術に利用できる助成券を 1 月当たり 2 枚（1 枚あたり 1,000 円）を交付しました。
・発行者数 500 人 ・発行枚数 10,436 枚 ・利用者数 319 人 ・利用枚数 4,928 枚
- 紙おむつ支給事業 2,159 要介護認定 1・2 の市町村民税非課税世帯又は要介護認定 3 以上の方※に、1 月当たり 3,000 円分の助成券を交付しました。（※所得制限あり）
・利用者数 104 人
- 福祉タクシー事業 1,282 要支援 2 又は要介護認定を受けている方がタクシーを利用する場合、1,000 円を上限に料金の 1/2 を助成する割引券を年間 30 枚交付しました。
・利用件数 のべ 1,546 人
- 高齢者外出支援タクシー利用助成事業 8,352 運転免許証を有していない満 75 歳以上の方等の外出を支援するため、タクシー利用助成券を 1 月当たり 4 枚（1 枚あたり 500 円）を交付しました。
・発行者数 782 人 ・発行枚数 33,924 枚 ・利用者数 595 人 ・利用枚数 16,705 枚
- 高齢者運転免許証自主返納支援事業 73 平成 31 年 4 月 1 日以降に運転免許証を自主返納された方で、自主返納時の年齢が 70 歳以上 75 歳未満の方に対し、外出を支援するため、タクシー利用助成券 40 枚（1 枚あたり 500 円）を交付しました。（交付は、1 人 1 回限り）
・発行者数 17 人 ・利用者数 16 人 ・利用枚数 146 枚
- 高齢者補聴器購入費用助成事業 220 聴力低下により日常生活を営むのに支障がある在宅の高齢者に対し、医療機器認定を受けている補聴器の購入に要した費用の一部（上限額 10,000 円）を助成しました。
・助成者数 22 人

◆交流拠点施設げんき館運営事業（3-1-2-2） 4,698（4,682）

【その他特財：4,698】

【事業概要】目標①

高齢者など多世代が交流できる拠点施設を指定管理者により運営しました。

延べ入館者数 5,155 人、一月あたり平均約 430 人

◆国民年金一般事務費（3-1-3-1） 6,200（6,720）

【国県支出金：2,972 その他特財：2,299 一般財源：929】

【事業概要】目標①

国民年金の資格取得届、免除申請、裁定請求等の受付と日本年金機構への報告及び送付を行いました。

また、国民年金に関する相談と年に 1 回社会保険労務士による年金全般の相談を実施しました。これらの年金相談や届出時の説明により、年金制度の意義・役割の周知と保険料納付の促進を図りました。

○第 1 号被保険者数 2,450 人 ○資格取得届等 1,013 件 ○免除申請送付 945 件

○裁定請求 43 件 ○相談件数 1,142 件（内社労士相談 4 件）

◆国民健康保険特別会計への繰出経費（3-1-4-1） 126,224（109,645）

【国県支出金：81,761 一般財源：44,463】

【事業概要】目標①

次の費用を一般会計から国民健康保険特別会計へ繰り出しています。

- 保険基盤安定繰入金として、低所得者に対する保険税軽減分（財源内訳 県 3/4、市町村 1/4）、保険税軽減世帯の割合等に応じて支援する保険者支援分（財源内訳 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4）
- 未就学児に係る均等割保険料軽減分（財源内訳 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4）
- 産前産後保険料免除制度に係る経費（財源内訳 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4）
- 出産育児一時金として支給している額の 2/3
- 国民健康保険特別会計の総務費（事務費）分

◆介護保険特別会計への繰出経費（3-1-5-1） 265,271（257,303）

【国県支出金：11,654 一般財源：253,617】

【事業概要】目標①

介護保険事業を行う上での事務的経費及び介護給付費等の町負担分を支出しました。

◆介護保険事業（3-1-5-2） 0（150）

【国県支出金：0 一般財源：0】

【事業概要】目標①

町内における介護職員の雇用を確保し、介護サービスの安定した提供に資するため、介護保険初任者研修の受講費用を上限 5 万円又は研修費用の半額どちらか小さい額を助成する事業ですが、令和 7 年度は交付実績がありませんでした。 ※令和 6 年度も交付実績なし

◆後期高齢者医療事業（3-1-6-1） 366,698（362,136）

【国県支出金：40,891 その他特財：9,461 一般財源：316,346】

【事業概要】目標①

75 歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険に関する経費や健康増進並びに医療費の適正化を図るために、千葉県後期高齢者医療広域連合から委託を受けた、後期高齢者を対象とした保健・医療・介護の一体的実施事業、健康診査を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の一部を助成しました。

- 被保険者数：4,201 人
- 療養給付費負担金 276,870
- 広域連合負担金 13,405
- 後期高齢者医療特別会計繰出金 57,805
- 一体的実施事業 15
- 健康診査 6,547（対象者数 3,907 人 受診者数 810 人 受診率 20.7%）
- 人間ドック費用の助成 11,229（対象者数 3,907 人 受診者数 314 人 受診率 8.0%）
- 歯科健診（75 歳）35（対象者数 370 人 受診者数 56 人 受診率 15.1%）

◆ひとり親福祉推進事業（3-2-3-1） 5,751（11,075）

【国県支出金：2,723 一般財源：3,028】

【事業概要】目標①

- 酒々井町母子寡婦福祉会補助金 85 母子寡婦福祉会の活動を支援するため助成しました。
- ひとり親家庭等医療費助成 4,726 ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため医療費等の自己負担分（全部又は一部）を助成しました。助成は保険適用分のみ対象（一部負担金あり）となります。
 - ・対象者 年度末で 18 歳以下（心身に一定の障害がある場合は 20 歳未満まで）の児童を監護しているひとり親家庭の父母、または父母に代わって児童を療育している人及び心身に一定の障害がある 18 歳以上 20 歳未満の児童（所得制限あり）
 - ・対象者数 107 人

◆人権推進一般事務費（3-3-1-1） 7,155（12,563）

【国庫支出金：7,078 一般財源：77】

【事業概要】目標⑦

様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、啓発活動を行いました。人権教育の一環として、小・中学生を対象とした人権教室の実施、町内の小学生が描いた人権啓発ポスターの展示を開催しました。人権週間（12 月 4 日から 10 日まで）には、人権をテーマとした講演会、広報車による巡回啓発、街頭啓発を行いました。

また、4 月 1 日より、こども家庭センターを設置し、統括支援員（正規職員）、こども家庭支援員、虐待対応専門員を配置して、こども家庭センターを運営しました。

- 子育て世帯訪問支援事業（316）申請 2 世帯のうち 1 世帯が利用しました。
- 利用者支援事業こども家庭センター型（6,163）こども家庭支援員 4 名配置、虐待対応専門員 1 名配置を配置しました。主な活動は次のとおりです。
 - 子ども虐待防止対策協議会（3 回）、個別支援会議（46 回）、DV相談（6 件）、子ども家庭相談、児童虐待相談（202 件）、要保護・要支援児童世帯（28 世帯、児童数 50 名）

◆人権推進事業（3-3-2-1） 2,409（2,535）

【一般財源：2,409】

【事業概要】目標⑦

人権施策推進業務として、一般社団法人千葉県人権啓発センターに業務委託及び地区の公園等の管理を行いました。

- 一般社団法人千葉県人権啓発センター委託業務（2,000）同和地区の防犯対策及び地域環境整備を実施しました。
- その他の人権施策推進業務として、地区の公園、街灯の管理をしました。

◆隣保館運営事業（3-3-2-2） 12,433（12,680）

【国県支出金：6,700 その他特財：31 一般財源：5,702】

【事業概要】目標⑦

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の相

談事業や人権課題解決のため各種事業を行いました。さらに、隣保館利用者と地域住民との交流をより深めるために、隣保館まつりを開催しました。

基本事業として、次の3つの事業を実施しました。

○相談事業 就労に関する情報提供、生活相談は随時

○啓発事業 人権ふれあい講座は年2回

○地域交流事業 高齢者音楽健康教室（24回）、フラワーアレンジメント教室（10回）、ヨガ教室（3回）、ハーバリウム体験教室（2回）、多肉植物寄せ植え体験教室（1回）、第10回隣保館まつり（10月4日 延べ250名参加）

貸館業務として、実施した事業は次のとおりです。

○生きがいデイサービス（81回） ○ふるさと会（24回） ○健やか体操（24回） ○編み物（22回）

○カラオケ同好会（19回） ○ヨーガ（17回） ○しらゆり会（3回）

◆住宅維持管理事業（3-3-2-3） 12（1,973）

【その他特財：12】

【事業概要】目標⑦

小集落改良住宅、町営住宅の建物の不具合等の修理等を実施することで住宅維持管理を行いました。

○令和7年度は風呂釜の修理しました。

◆住宅新築資金等貸付事業（3-3-2-4） 1（2）

【国県支出金：1】

【事業概要】目標⑦

住宅新築資金等貸付事業により貸付中の世帯に対して償還事務を行いました。

○7世帯に対して償還事務を行いました。

◆災害救助事業（3-4-1-1） 50（52）

【一般財源：50】

【事業概要】目標③

自然災害で被害を受けた住民に対し災害弔慰金の支給や災害障害見舞金の支給、災害援護資金の貸付けに係る事務を町と千葉県市町村総合事務組合で共同処理しており、その事務に要する市町村負担金を支出しました。

◆保健センター 一般事務費（4-1-1-1） 233,043（248,006）

【国県支出金：70 地方債：204,300 その他特財：486 一般財源：28,187】

【事業概要】目標①

＊夜間医療体制等の確保 2,698

夜間、日曜日・祝日及び年末年始の医療、小児初期急病診療サービスを確保しました。

【印旛市郡小児初期急病診療所】（0～15歳）

診療日	診療時間
月～土曜日	19時～23時
日曜日・祝日・年末年始	9時～17時、19時～23時

場 所：佐倉市江原台2-27（佐倉市健康管理センター内）

電 話：043-485-3355

【成田市急病診療所】

診療科目	診療日	診療時間
内科・小児科	毎日（日曜日を含む）	19時～23時
	日曜日・祝日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
外科	日曜日・祝日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
歯科	祝日（日曜を除く）・振替休日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時

場 所：成田市赤坂1-3-1（成田市保健福祉館敷地内）

電 話：0476-27-1116

○保健センター大規模改修事業 213,400

昭和59年3月に建設された保健センターは、地域保健の重要な役割を担っている施設であり、また、災害時の救護所として位置づけられていることから、町民の生命と健康を守るため、大規模改修事業を行いました。

◆予防接種事業（4-1-2-1） 55,700（99,734）

【一般財源：55,700】

【事業概要】目標①

次の予防接種を行い、個人の健康管理を行うとともに感染症の流行防止に努めました。

	対 象	内 容	費 用	対象者数 延べ(人)	接種者数 延べ(人)
定期 接種	乳幼児	百日せきジフテリア 破傷風ポリオヒブ混合	無 料	3 6 0	2 8 7
		麻しん風しん混合 (1期・2期)		2 0 3	1 9 8
		B C G		8 8	6 6
		日本脳炎(1期・2期)		4 2 3	4 3 6
		小児用肺炎球菌		3 5 2	2 8 7
		水痘		1 9 2	1 6 2
		B型肝炎		2 6 4	1 9 4
		ロタウイルス		1 7 6	1 3 7
	11歳～13歳	ジフテリア破傷風混合		6 9	1 0 0
	小学6年生～高校1年生 女子・未接種者	子宮頸がん(ヒトパピ ローマウイルス)		7 5 9	2 9 2
	65歳以上希望者	インフルエンザ	助成額：4,000円	6, 7 0 7	3, 7 8 5
		新型コロナウイルス感 染症	助成額：11,800円		7 8 2
任意 接種	65歳	高齢者肺炎球菌	助成額：4,600円	1 9 8	3 3
	65歳から100歳ま での5歳刻み・100歳 以上	ビケン	助成額：4,860円	1, 3 8 7	1 7 8
		シングリッ クス	助成額：11,060×2 回		3 5 4
	2歳～17歳の未接種者	麻しん風しん混合	無料	—	1
	18歳以上の妊娠を希望 する女性とその配偶者	麻しん風しん混合	助成額 麻しん風しん混合：5,000円 風しんのみ：3,000円	—	2

◆結核健康診断事業（4-1-2-2） 1,346（1,771）

【一般財源：1,346】

【事業概要】目標①

65歳以上の方を対象として、疾病の早期発見・早期治療を目的として胸部X線検査を実施しました。 対象者数 6, 596人 受診者数 807人



◆感染症予防対策事業（4-1-2-3） 629（398）

【一般財源：629】

【事業概要】目標①

町民の健康管理を実施するうえで必要なシステム機器を賃借しました。

◆健康増進事業（4-1-3-1） 23,898（29,530）

【国県支出金：1,573 その他特財：3,885 一般財源：18,440】

【事業概要】目標①

健康の増進のため、各種検診、健康教育、健康相談などの健康増進事業を行いました。

項 目		対象等	実施回数・参加者数
健康 教育	糖尿病予防教室	20歳以上	2回・40人
	ヘルスアップセミナー	20歳以上	6回・延べ67人
	いきいきしすいっ子教室	酒々井小・太室台小5年生	各校1回 103人
健康相談		—	来所者：延べ97人 電話：延べ17人
健康手帳の配布		20歳以上の希望者	312人
健幸ポイント事業		20歳以上の町民	14人
アピアランスケア支援事業		該当者	延べ9件

項 目		対 象	自己負担	対象者数(人)	受診者数(人)
乳がん 検診	エコー	30歳代・40歳代 偶数歳	保健センター1,000円 医療機関 2,000円	7,634	集団81 個別17
	マンモグ ラフィ	50歳以上・ 40歳代奇数歳	保健センター1,000円 医療機関 2,000円		集団858 個別169
子宮頸がん検診		20歳以上	保健センター1,000円 医療機関 2,000円	4,431	集団351 個別123
胃がん検診		40歳以上	1,000円	13,120	561
大腸がん検診		40歳以上	保健センター 300円 医療機関 700円	13,120	集団1,352 個別169
肺がん検診		40歳以上	300円	13,120	1,104
肝炎ウイルス検診		40歳以上	無 料	798	77
骨粗しょう症予防 検診		30・35・40・45・ 50・55・60・65・70 歳（女性）	500円	1,023	205
成人歯科検診		40歳以上	無 料	13,085	72

※乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診には、無料クーポン券によるがん検診受診者を含む。

再掲 無料クーポン券によるがん検診

項 目	対 象	対象者数 (人)	受診者数 (人)
子宮頸がん検診	20・25・30・35・40歳	517	58
乳がん検診 (マンモグラフィ)	40・45・50・55・60歳	627	161
大腸がん検診	40・45・50・55・60歳	1,342	171

◆母子保健推進事業 (4-1-4-1) 25,929 (31,822)

【国県支出金：10,929 一般財源：15,000】

【事業概要】目標①

妊娠中から子育て中の方が健やかに育児できるよう次の母子保健事業を行いました。



事 業 名	対 象	実施 期間	対象者数 (人)	受診者・ 参加者数 (人)
母子健康手帳交付	妊婦	通年	91	面接者数) 91
妊婦・乳児支援タクシー	妊婦・産婦	通年	91	利用者60
妊婦・乳児 一般健康診査	妊婦 (14回) 乳児 (2回)	通年	98 —	延べ 913 延べ105
産婦健康診査	産婦	通年	70	延べ85
1か月児健康診査	1か月児	通年	70	60
ママ・パパ歯科検診	妊婦 配偶者	通年	妊婦91 配偶者—	妊婦20 配偶者11
マタニティ・ママパパクラス	妊婦・家族	1コース4回 年3コース	—	延べ46
新生児・産婦訪問指導	新生児・産婦	通年	94	94
産後ケア事業	産婦	通年	70	延べ54
妊婦のための支援給付金	妊婦	通年	91	1回目93 2回目65
乳児相談	4か月児 10か月児	年12回	70 87	63 76
出生祝品の配布 (ブックスタート)	4か月児	年12回	70	63
幼児健康診査	1歳6か月児 3歳児	年6回 年6回	87 106	83 90
2歳児歯科健康診査	2歳児	年4回	89	66
なかよしはみがき教室	保育園児 幼稚園児	年6回	104	89
幼児健診事後指導教室 (遊びの教室どんぐり)	幼児・保護者	年12回	—	延べ37組

心理発達相談（親子相談）	幼児・保護者	年10回	—	延べ20組
ことばの教室プラム	3歳6か月～未就学児	年27回	—	延べ80

◆栄養改善推進事業費（4-1-5-1） 161（166）

【その他特財：30 一般財源：131】

【事業概要】目標①

食育を推進するため以下の事業を行いました。

- ・食育講座 1回 参加者 14人・大人の食育教室（太巻き祭り寿司作り）1回 16人
- ・乳児相談、幼児健康診査において、受診者に栄養相談とパンフレット配布を実施しました。

■こども課

◆児童福祉一般事務費（3-2-1-1） 7,536（816）

【その他特財：2 一般財源：7,534】

【事業概要】目標①

地域における児童を対象として、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、自主性、社会性、創造性を高め、情操を豊かにするため児童遊園用地の整備および維持管理を行いました。



◆放課後子ども教室事業（3-2-1-2） 1,520（2,733）

【国県支出金：444 一般財源：1,076】

【事業概要】目標①

様々な体験等を通して児童の健全育成を図るため、小学校の体育館などを活用し、（地域の方々の協力を得て、）体を使った遊び等をする放課後子ども教室を開催しました。

酒々井小学校・大室台小学校…週1回開催

	開催日	開催日数	登録児童数	参加児童数（1日平均）
酒々井小学校	毎週火曜日	30日	174人	26人
大室台小学校	毎週月曜日	20日	189人	38人

◆放課後児童クラブ事業（3-2-1-3） 60,319（61,543）

【国県支出金：33,446 一般財源：26,873】

【事業概要】目標①

昼間、就労等により保護者による監護ができない小学生を対象に、町内4ヶ所において、放課後の安全な居場所を提供するとともに、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全な育成を図りました。

名称	委託料・補助金	開設日数	登録児童数 (R8.3.31)
酒々井小学校児童クラブ	18,944千円	285日	90人
大室台小学校児童クラブ	17,775千円	281日	50人
昭苑学童クラブ	12,352千円	263日	68人
BEAR BEE 学童クラブ	5,851千円	254日	24人

◆子ども・子育て支援事業（3-2-1-4） 28,623（29,314）

【国県支出金：16,662 その他特財：96 一般財源：11,865】

【事業概要】目標①

子育て家庭の包括的な支援及び子どもの健全な育成に資するため、保健センター等と連携を図りながら、酒々井町子育て支援センター等において、子ども・子育て支援事業を実施しました。

<子ども・子育て支援事業>

＊地域子育て支援拠点事業（保育士等による、子育て中の親子の交流促進や育児相談等）

あいあい（週6日）利用者数 5,859人

しょうえんこどもこそだてルーム（週5日委託）利用者数 972人

＊ファミリー・サポート・センター事業（子育ての相互援助活動の連絡調整）

登録者数 131人 活動件数 461件

＊利用者支援事業（身近な場所での教育・保育に関する相談等）

相談件数 510件

◆高等学校等奨学給付金事業（3-2-1-5） 1,388（3,207）

【一般財源：1,388】

【事業概要】目標①

経済的な理由により高等学校等に進学が困難な方に対し、奨学給付金を支給し、教育の機会均等を図りました。支給対象件数 14件

◆乳児等通園支援事業（3-2-1-7） 289（0）

【国県支出金：88 一般財源：201】

【事業概要】目標①

保育所等に通っていない0歳6ヶ月から満3歳を対象に、月10時間を上限に通園できる預かり事業を開始するための準備として、備品等の整備を行いました。（令和8年度より事業実施）

◆児童手当支給事業（3-2-2-2） 320,890（332,622）

【国県支出金：287,956 その他特財：3,066 一般財源：29,868】

【事業概要】目標①

18歳までを対象に、児童手当を支給しました。受給できる方は子どもを養育する父母等、児童手当の額は3歳未満（第1子・2子月額15,000、第3子以降月額30,000円）、3歳以上高校生年代（第1子・2子月額10,000円、第3子以降月額30,000円）

※2ヶ月ごとに支給（偶数月）



◆物価高対応子育て応援手当支給事業（3-2-2-16） 43,801（0）

【国県支出金：42,844 一般財源：957】

物価高の影響が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、我が国のこどもたちの健やかな成長を応援する観点から、一人あたり20,000円を支給しました。支給対象者2,163人

◆中央保育園運営事業（3-2-4-1） 65,042（68,835）

【国県支出金：1,090 その他特財：7,266 一般財源：56,686】

【事業概要】目標①

就労等により、昼間保護者が家庭にいない乳幼児を対象に保育を行いました。

在籍人数（令和8年3月1日現在） 54人（うち管外0人）

◆岩橋保育園運営事業（3-2-4-2） 159,466（161,023）

【国県支出金：4,535 その他特財：28,215 一般財源：126,716】

【事業概要】目標①

就労等により、昼間保護者が家庭にいない乳幼児を対象に保育を行いました。

在籍人数（令和8年3月1日現在） 126人（うち管外3人）

◆保育委託事業（3-2-4-3） 181,641（198,813）

【国県支出金：142,513 その他特財：4,115 一般財源：35,013】

【事業概要】目標①

町立保育園以外の保育園等へ保育を委託しました。3歳児以上の幼稚園や保育園を利用する児童の保護者に対し、施設を利用する認定や無償化の認定を行い、保護者が負担する保育料を無料としました。

私立昭苑こども園在籍人数（令和8年3月1日現在） 115人（うち管外4人）

管外委託保育 9人

◆子ども医療助成事業（4-1-4-2） 61,412（70,970）

【国県支出金：12,727 一般財源：48,685】

【事業概要】目標①

保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため、高校生等までの医療費の自己負担分を助成しました。

◆養育医療助成事業（4-1-4-4） 1,271（735）

【国県支出金：395 その他特財：228 一般財源：648】

【事業概要】目標①

養育のため病院等に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療費を給付し、乳児の生命の保護及び健康増進を図りました。

◆教育委員会一般事務費（こども課）（9-1-1-1） 1,912（1,982）

【一般財源：1,912】

【事業概要】目標②

教育委員の報酬、委員研修負担金、教育委員会連絡協議会負担金等を支出しました。

◆教育総務一般事務費（こども課）（9-1-2-1） 80,245（102,527）

【国県支出金：37,791 その他特財：14 一般財源：42,440】

【事業概要】目標②

教育施策に係る事務費及び各協議会負担金を支出しました。

また、第2期GIGAスクール構想に向け、児童・生徒及び教職員の1人1台PCの更新、体育館スポットクーラー導入のための電源工事を行いました。

◆**私立幼稚園補助事業（9-1-2-8） 246（246）**

【一般財源：246】

【事業概要】目標②



○私立幼稚園運営費・教材費補助事業

町内の私立幼稚園（子ども・子育て支援法の確認を受けた私立幼稚園を除く。）に運営費及び教材費を補助しました。

○運営費補助金：1園当たり20万円 ○教材費補助金：園児（町内在住）1人当たり1,000円

◆**酒々井小学校管理事業（酒々井小）（9-2-1-1） 1,450（1,450）**

【一般財源：1,450】

【事業概要】目標②

酒々井小学校の児童生徒が十分な教育を受けるために必要な授業の消耗品等を購入しました。

◆**大室台小学校管理事業（大室台小）（9-2-1-3） 1,510（1,450）**

【一般財源：1,510】

【事業概要】目標②

大室台小学校の児童生徒が十分な教育を受けるために必要な授業の消耗品等を購入しました。

◆**酒々井小学校管理事業（こども課）（9-2-1-11） 15,746（15,648）**

【その他特財：13 一般財源：15,733】

【事業概要】目標②

酒々井小学校の児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の維持管理を行いました。

◆**酒々井小学校施設整備管理事業（こども課）（9-2-1-12） 19,151（18,126）**

【一般財源：19,151】

【事業概要】目標②

酒々井小学校の児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の営繕を行いました。

◆**大室台小学校管理事業（こども課）（9-2-1-13） 10,863（11,201）**

【その他特財：285 一般財源：10,578】

【事業概要】目標②

大室台小学校の児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の維持管理を行いました。

◆大室台小学校施設整備管理事業（こども課）（9-2-1-14） 15,636（15,010）**【一般財源：15,636】****【事業概要】 目標②**

大室台小学校の児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の営繕を行いました。

◆中学校管理事業（酒々井中）（9-3-1-1） 2,385（2,450）**【一般財源：2,385】****【事業概要】 目標②**

酒々井中学校の生徒が十分な教育を受けるために必要な授業の消耗品等を購入しました。

◆中学校管理事業（こども課）（9-3-1-11） 17,913（16,713）**【その他特財：117 一般財源：17,796】****【事業概要】 目標②**

酒々井中学校の生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の維持管理を行いました。

◆中学校施設整備管理事業（こども課）（9-3-1-12） 16,404（16,080）**【一般財源：16,404】****【事業概要】 目標②**

酒々井中学校の生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を確保するため、施設の営繕を行いました。

■文化観光課**◆観光事業（6-1-3-1） 985（1,445）****【一般財源：985】****【事業概要】 目標⑥**

○町の特産品をＪＲ酒々井駅のケースディスプレイに展示しました。

○町外で開催されるイベント等へ積極的に参加し、訪日外国人を含めた観光客の誘客を図りました。

○観光アプリの維持管理を行いました。

○町の観光情報をInstagramなどのSNSにより積極的に発信しました。

◆コミュニケーションセンター事業（6-1-3-2） 7,392（7,388）**【一般財源：7,392】****【事業概要】 目標⑥**

酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」において、訪れる方に町の観光物産等に関する情報を広く提供することにより、町のイメージアップと誘客を図りました。

◆ハーブガーデン運営事業（6-1-3-5） 3,292（3,335）

【一般財源：3,292】

【事業概要】目標⑥

酒々井コミュニティプラザに隣接するしすい・ハーブガーデンの運営を行い、「ハーブのまち酒々井」のPRとあわせ、憩いの場の提供や、観光施設としての魅力向上に取り組みました。

◆まちの顔づくり推進事業（6-1-3-6） 1,708（1,514）
（9-4-2-3） 1,698（1,698）

【一般財源：3,406】

【事業概要】目標②

江戸時代に栄えた旧酒々井宿に残る旧蒔家住宅や旧相川家住宅などの歴史的建造物を、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加に資するため歴史的建造物の利活用を進めました。

○歴史的建造物の管理：国登録有形文化財旧蒔家住宅及び町登録有形文化財相川文子家の管理を行いました。

○旧蒔家住宅公開事業：建物の内部を公開・解説するイベントを開催しました。

○旧蒔家住宅土蔵修繕事業：強風や大雨の影響により破損した土蔵の壁を修繕するための工事を行いました。

◆まるごとしすい運営事業（6-1-6-1） 7,900（7,900）

【その他特財：1 一般財源：7,899】

【事業概要】目標⑥

「まるごとしすい」において、定期的なイベント等の開催により、アウトレット利用者を呼び込み、特産品等のマーケティング、中小企業・小規模事業者への新たな特産品等の開発や販路の確立等の相談支援に取り組みました。併せて、酒々井プレミアム・アウトレットの集客効果を活かすため、酒々井コミュニケーションセンターと連動した運営により、町のイメージアップと街中への誘客を図りました。

■経済環境課

◆環境衛生対策事業（4-1-6-1） 21,518（21,654）

【国県支出金：68 その他特財：367 一般財源：21,083】

【事業概要】目標④

○畜犬管理システムで飼い犬の登録や管理、狂犬病予防注射の啓発を行いました。

○飼い主のいない猫の避妊・去勢手術及び譲渡を実施した団体に補助金の交付等を行いました。

○葬祭組合の管理運営に係る経費を負担しました。

（佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合 構成市町：佐倉市、四街道市、酒々井町）

◆環境保全対策事業（4-1-7-1） 107,962（297,660）

【国県支出金：4,197 一般財源：103,765】

【事業概要】目標④

○河川水質検査等の環境調査を行いました。

- あき地に繁茂している雑草等の除去に関する条例に基づき、指導等を行いました。
- 印旛沼水質保全協議会等の運営に係る経費を負担しました。
- 馬橋川沿岸の盛土の撤去工事に着手しました。

◆地球温暖化対策推進事業（4-1-7-4） 3,340（5,410）

【国県支出金：1,710 一般財源：1,630】

【事業概要】目標④

ご家庭における地球温暖化対策促進のため、太陽光発電システム（新築のみ）、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電池システム、窓の断熱改修及び電気自動車を購入、設置した町民に補助金の交付を行いました。

◆清掃一般事務費（4-3-1-1） 1,938（2,073）

【国県支出金：120 一般財源：1,818】

【事業概要】目標④

- 不法投棄監視員による月1回のパトロールを実施し、廃棄物及び残土の不法投棄監視を行いました。
- 不法投棄された廃棄物の処分を行いました。
- 年1回5月にゴミゼロ運動を実施しました。
- ごみ分別促進アプリの運用・更新を行いました。

◆じん芥処理事業（4-3-2-1） 247,828（249,744）

【その他特財：1,600 一般財源：246,228】

【事業概要】目標④



- 一般家庭から排出される廃棄物の収集運搬を行いました。
- リサイクルを推進するため、資源回収を行った団体等に対し報償金、また、事業者に対し奨励金の交付を行いました。
- ごみ減量化を推進するため、ペットボトルの拠点回収等を行いました。
- 生ごみ減量化を図るため、自家処理堆肥化容器（コンポスト）及び機械式生ごみ処理機を購入し設置した町民に補助金の交付を行いました。
- 清掃組合の管理運営及び建設等に係る経費を負担しました。
（佐倉市、酒々井町清掃組合 構成市町：佐倉市、酒々井町）

◆し尿処理事業（4-3-3-1） 17,452（18,893）

【国県支出金：1,248 一般財源：16,204】

【事業概要】目標④

- 印旛沼の水質浄化を目的に単独浄化槽から転換を推進するため、補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等を設置する町民に補助金の交付を行いました。
- 衛生施設管理組合の管理運営等に係る経費を負担しました。
（印旛衛生施設管理組合 構成市町：佐倉市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町）

◆農業一般事務費（5-1-2-1） 184（184）

【一般財源：184】

【事業概要】目標⑥

農業振興等に関する事業を行っている各種農業団体への負担金を支出しました。



◆農業振興管理事業（5-1-3-1） 9,464（11,653）

【国県支出金：1,207 その他特財：3 一般財源：8,254】

【事業概要】目標⑥

- 農産物の生産振興のため、ふるさとまつり実行委員会や植物防疫協会などの団体に対し、補助金等の交付を行いました。
- イノシシ被害防止の電気柵設置や有害鳥獣被害防止対策として狩猟免許を取得される方に補助金の交付を行いました。
- 次世代を担う意欲ある新規就農者に対し、農業経営開始資金の交付を行いました。

◆農業基盤整備事業（5-1-3-2） 6,064（7,482）

【国県支出金：782 その他特財：678 一般財源：4,604】

【事業概要】目標⑥

- 農業・農村の有する水源の涵養・自然環境の保全等の多面的機能の発揮のため、農用地・水路・農道等の地域資源の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金の交付を行いました。
- 農道整備のための碎石を支給しました。

◆畜産振興事業（5-1-4-1） 5（6）

【一般財源：5】

【事業概要】目標⑥

畜産の振興及び家畜衛生事業を推進するため、家畜伝染病対策などの指導を行いました。

◆生産調整推進対策事業（5-1-5-1） 3,239（4,478）

【国県支出金：219 一般財源：3,020】

【事業概要】目標⑥

生産調整協力者 12 名に奨励補助金の交付及び経営所得安定対策の推進のため、地域農業再生協議会へ補助金の交付を行いました。

◆地域向上対策事業（5-1-6-1） 890（966）

【その他特財：29 一般財源：861】

【事業概要】目標⑥

地域住民の生活の充実、文化の向上及び社会活動を推進するため、農産物加工等を行える生涯生活センターの管理運営を行いました。

◆林業管理事業（5-2-1-1） 4,453（4,050）

【一般財源：4,453】

【事業概要】目標⑥

森林整備等に必要な財源に充てるため、国から町に譲与される森林環境譲与税を、将来の活用に備えて基金に積み立てました。

◆水産業事業（5-3-1-1） 135（135）

【一般財源：135】

【事業概要】目標⑥

印旛沼、利根川水系の漁場環境保全を推進するため、ウナギ及びフナ等の稚魚の放流を支援しました。

◆商工一般事務費（6-1-1-1） 3,949（4,014）

【国県支出金：17 一般財源：3,932】

【事業概要】目標⑥



- 安全な消費生活のために、悪質商法、契約のトラブルなどに関する相談について、毎月第1・3・5火曜日に消費者相談員による相談受付を行いました。
- まちづくりへの積極的な参画など、商工業の振興を図る事業を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。

◆商工業振興事業（6-1-2-1） 6,103（4,303）

【その他特財：3,000 一般財源：3,103】

【事業概要】目標⑥

- 地域の活性化や若手後継者、小規模事業者の育成など、町経済の振興を図る事業（イベントなど）を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。
- 産業の振興及び活性化を図るため、町内で創業する方に対し補助金の交付を行いました。

◆企業誘致事業（6-1-2-2） 3（31）

【一般財源：3】

【事業概要】目標⑥

酒々井インターチェンジ等周辺でポテンシャルが高い地区の土地の有効活用を図るため、製造・流通・業務系の事業者等の誘致を推進しました。また、既存の工業団地で未利用となっている土地所有者に対し、事業化の働きかけを行いました。

◆コミュニティプラザ運営事業（6-1-4-1） 17,714（16,990）

【その他特財：5,917 一般財源：11,797】

【事業概要】目標⑥

コミュニティプラザには、大広間、浴室、多目的ホール等があり、健康増進や憩いの場として町民に利用されています。（予約申込は1か月前から電話予約可能）

利用時間は9時から21時（浴室11時から20時）、休館日は年末年始（施設等点検のため臨時休館）

あり)、利用料は大広間 1 時間当たり 600 円 (夜間 900 円)、会議室 1 時間当たり 200 円 (夜間 300 円)、浴室 1 人当たり 100 円 (夜間 150 円)、多目的ホール、全面利用 1 時間当たり 1,000 円 (夜間 1,500 円)・片面利用 1 時間当たり 500 円 (夜間 750 円)

※夜間料金は、午後 5 時から利用の場合です。※町外の方は料金が異なります。

◆ちびっこ天国運営事業 (6-1-5-1) 3,172 (2,732)

【その他特財：3,172】

【事業概要】 目標⑥

酒々井ちびっこ天国は、大型プール施設として開園から 52 年が経過し、その老朽化が進行しているため、現在は休園しています。このため、国道 51 号及び県道宗吾酒々井線に設置されていたちびっこ天国の標識 (3 基) の撤去を行いました。

■農業委員会事務局

◆農業委員会運営事業 (5-1-1-1) 6,789 (6,991)

【国県支出金：935 一般財源：5,854】

【事業概要】 目標⑥

農業委員会総会の開催等に関する事業を行いました。

◆農用地利用実践事業 (5-1-1-4) 927 (976)

【国県支出金：105 その他特財：236 一般財源：586】

【事業概要】 目標⑥

農地等の利用の最適化 (担い手への農地利用集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進) に関する事業を行いました。

■まちづくり課

◆道路橋りょう一般事務費 (7-1-1-1) 10,766 (7,168)

【その他特財：563 一般財源：10,203】

【事業概要】 目標⑤

道路台帳補正業務を実施することで、最新の道路台帳データを提供し窓口サービスの向上を図りました。また、未登記処理調査を実施し未登記となっている用地の解消、将来未登記となる恐れのある箇所を未然に防ぎました。

○道路台帳補正 3,520 ○道路管理システム更新業務 781 ○未登記処理調査費 2,520

◆交通安全対策事業 (7-1-2-1) 2,105 (2,008)

【一般財源：2,105】

【事業概要】 目標③

道路反射鏡や防護柵などの交通安全施設を維持管理し、車両による事故防止や安全な歩行空間の確保を図りました。

○道路反射鏡建替 594 ○道路標識建替 204 ○防護柵補修 495

◆防犯街灯事業（7-1-2-2） 105,395（30,576）

【一般財源：105,395】

【事業概要】目標③

町管理防犯街灯のLED化事業を実施し、温室効果ガスの排出削減やゼロカーボンシティの推進を図りました。また、自治会にて管理している防犯街灯の電気料・修理費・新規設置のため費用の一部を助成しました。

○町防犯街灯等LED化事業 76,651

○町管理防犯街灯電気料 16,835

○町管理防犯街灯修理費 2,999

○自治会管理防犯街灯補助：電気料補助（当該年度4月分電気料×12か月×70%）、修理費補助（修理費×50%）、新規設置等補助（工事費×50%（上限：共架25,000円・小柱40,000円））

◆駐輪場事業（7-1-2-3） 12,133（12,326）

【その他特財：8,884 一般財源：3,249】

【事業概要】目標⑤

酒々井町にて運営しているJR酒々井駅（西口・東口）及び京成酒々井駅（東口）の自転車駐輪場等の維持管理を行い、利用者の利便性向上を図りました。

○京成酒々井駅東口及びJR酒々井駅東口・西口自転車等駐輪場管理業務 6,564

○JR酒々井駅自動ゲートシステム保守点検・緊急対応業務 3,300



◆道路維持事業（7-1-3-1） 81,323（73,428）

【その他特財：15,387 一般財源：65,936】

【事業概要】目標⑤

管理道路を適切に維持管理し、車両通行の円滑化及び道路環境の向上を図りました。また、緊急対応が必要な道路の補修工事を行い、道路機能を維持しました。

○道路除草委託 6,793 ○街路樹年間管理 13,584 ○道路維持補修 29,655 ○道路構造物点検 5,533

◆社会資本整備総合交付金事業(道維)（7-1-3-2） 15,840（0）

【国県支出金：7,711 地方債：5,600 一般財源：2,529】

【事業概要】目標⑤

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全型の維持補修を行うことで、施設に求められる性能を保持する期間を延ばし補修予算縮減を実現するとともに、長期にわたって健全な状態を保ち、安全な道路環境の確保を図りました。

○台橋補修設計業務委託 6,270 ○台橋補修工事 9,570

◆道路改良新設事業（7-1-4-1） 2,534（2,559）

【一般財源：2,534】

【事業概要】目標⑤



町道の改良・排水整備等を行うことで、良好な都市基盤の整備を図りました。

○町道 1 B - 0 0 5 号線現地測量業務 979

◆社会資本整備総合交付金事業(道改) (7-1-4-4) 170,165 (84,588)

【国県支出金：85,745 地方債：63,000 一般財源：21,420】

【事業概要】目標⑤

町道 0 2 - 0 1 2 号線の道路改良事業(飯積地先)については、中心市街地から酒々井南部地区への連絡機能を強化し、利便性向上を図るため、事業を推進しました。

○C B R 試験 4,664 ○積算業務((公財)千葉県建設技術センター) 3,146

○橋梁設置工事(下部工) 71,757

◆河川一般事務費(7-2-1-1) 15 (15)

【一般財源：15】

【事業概要】目標⑤

県河川協会負担金を支出しました。

◆河川改修事業(7-2-2-2) 46,145 (237,500)

【地方債：38,400 一般財源：7,745】

【事業概要】目標⑤

昨今頻発する水災害等を踏まえ、洪水を一時的に貯留する調節池の整備を実施しました。調節池設置箇所直下から最下流の印旛沼中央低地排水路合流点までの区間において河川水位を下げ、沿線地域の治水安全を向上させ、防災・減災効果を図るため、事業を推進しました。

○中川調節池整備工事 143 ○用地買収 38,405 ○中川調節池搬出路測量業務 3,190

○中川調節池搬出路設計業務 2,860

◆河川維持事業(7-2-3-1) 3,695 (3,700)

【地方債：2,700 一般財源：995】

【事業概要】目標⑤

江川において、気候変動の影響による水害の激甚化、頻発化に伴い、素掘り部の表法面や二面水路部の崩落被害が頻発していることから、河川改修・補修を実施しました。

○江川改修・補修工事 3,695

◆都市計画一般事務費(7-3-1-1) 5,327 (602)

【国県支出金：2,413 その他特財：264 一般財源：2,650】

【事業概要】目標⑤

都市計画事務を遂行するための総務的な経費を計上し、課内事務の円滑な進行を目指しました。

また、大地震時における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するため、大規模盛土造成地の変動予測調査を行いました。

○都市計画審議会委員報酬 43 ○宅地耐震化推進事業 4,828

◆**建築指導事業（7-3-1-3） 893（4,111）**

【国県支出金：394 一般財源：499】

【事業概要】目標⑤

狭あい道路拡幅整備：幅員4メートル未満の町道に接する土地の所有者から後退用地や隅切り用地を町に寄付していただき、測量、登記及び拡幅整備を行いました。

○狭あい道路用地測量・登記事務 561 ○狭あい道路拡幅工事 99

○狭あい道路隅切り用地奨励補助金 131

危険コンクリートブロック塀等安全対策事業：地震発生時におけるコンクリートブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、危険なブロック塀等の撤去費用の一部に、補助金を交付しました。

○倒壊の恐れのあるブロック塀の除却に係る経費に対する補助金 100

◆**住宅耐震事業（7-3-1-4） 611（1,176）**

【国県支出金：450 一般財源：161】

【事業概要】目標⑤

昭和56年5月31日以前に建築・着工された木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、木造戸建て住宅の耐震改修工事に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。

○木造住宅耐震改修費補助金 600

◆**住宅リフォーム補助事業（7-3-1-5） 1,704（1,704）**

【国県支出金：153 一般財源：1,551】

【事業概要】目標⑤

町民の生活環境の向上及び町内産業の活性化・雇用の創出を目的とし、住宅のリフォーム工事又は雨水抑制施設設置に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。

○住宅リフォーム補助金 1,700

◆**空家対策事業（7-3-1-7） 43（2,113）**

【一般財源：43】

【事業概要】目標⑤

管理が不適切な空き家等の所有者に対し、助言・指導等を行い、安全で安心な生活環境の保全を図りました。

○空家等対策協議会委員報償（7人×1回開催） 43

◆**街路整備一般事務費（7-3-2-1） 1,336（1,373）**

【一般財源：1,336】

【事業概要】目標⑤

京成酒々井駅東口に整備されているトイレの維持管理を行い、利便性の向上を図りました。

○京成酒々井駅東口公衆トイレ清掃業務 1,027

◆総合公園管理事業（7-3-3-1） 12,398（14,723）

【その他特財：2,985 一般財源：9,413】

【事業概要】目標⑤

酒々井総合公園の維持管理を目的とし、利用者が安全・安心に利用できるように施設の管理業務や環境整備を実施しました。

○酒々井総合公園年間管理業務 2,530 ○酒々井総合公園日常管理業務 3,459

○酒々井総合公園管理事務業務 2,862

◆街区公園管理事業（7-3-3-2） 21,888（53,531）

【その他特財：5,808 一般財源：16,080】

【事業概要】目標⑤

街区公園等の維持管理を目的とし、利用者が安全・安心に利用できるように施設の補修や環境整備を実施しました。

○街区公園除草業務委託 7,177 ○年間管理業務 1,870 ○公園遊具点検 935

○上ヶ作緑地施設改修 5,808



◆社会資本整備総合交付金事業(公園)（7-3-3-4） 12,953（13,000）

【国県支出金：5,038 一般財源：7,915】

【事業概要】目標⑤

街区公園において施設全般（遊具等）が老朽化している現状から、安全で快適な利用の確保を図ることを目的に長寿命化計画を策定しました。

○酒々井町公園施設長寿命化計画策定調査業務委託 12,953

◆先導的官民連携事業(公園)（7-3-3-6） 11,418（13,563）

【国県支出金：11,418】

【事業概要】目標⑤

将来にわたり持続可能な財政運営及び公共施設マネジメントの実現を図る観点から、酒々井総合公園を核として、周辺公共施設等を含めた一体的な利活用について、官民連携手法を活用し、収益機会の創出、公的負担の軽減、町民サービスの向上及び広域的集客拠点との連携による交流人口の拡大を図る先導的な官民連携モデルの構築を検討することを目的として実施しました。

○酒々井町総合公園パーク PFI・スモールコンセッション導入調査業務委託 11,418

◆区画整理一般事務費（7-3-4-1） 13（14）

【一般財源：13】

【事業概要】目標⑤

県市街地整備推進協議会負担金を支出しました。

■上下水道課

◆下水道事業への繰出経費（7-4-1-1） 36,579（76,966）

【一般会計からの繰入：36,579】

【事業概要】目標⑤

- 雨水施設の維持管理に係る費用 5,441 千円
- 公費で負担すべき企業債の元利償還金 9,405 千円
- 大規模下水道管路特別重点調査 1,514 千円
- 上岩橋地区雨水ポンプ場整備事業 20,219 千円

■学校教育課

◆教育委員会一般事務費（9-1-1-2） 224（250）

【一般財源：224】

【事業概要】目標②

教育委員会の行事等で必要な交際費です。

◆教育総務一般事務費（学校教育課）（9-1-2-2） 82,137（88,780）

【国県支出金：351 その他特財：2,549 一般財源：79,237】

【事業概要】目標②

- 特別支援学級介助員配置事業（酒小5人、大小2人）11,528 小学校の特別支援学級に在籍する児童の学習活動や学校生活の支援・補助を行うため、介助員を配置しました。
- 学習指導等専門支援員配置事業（小2人、中3人）7,232 特色ある教育活動を推進するための支援員を小・中学校に配置しました。
- 学習指導等専門支援員（理科専属）配置事業（小2人）2,702 小学校5・6年生の理科の授業を中心に観察・実験活動の充実を図るため、理科専属の支援員を配置しました。
- 教育アドバイザー配置事業（2人）5,411 国際交流事業やALT（外国語指導助手）の活用を図るとともに、外国人等への日本語指導を行うアドバイザーを小・中学校に派遣しました。
- 学習活動支援員配置事業（小1人）2,181 小・中学校へ通う肢体不自由等の理由から特別に支援を要する児童生徒個人を支援するため、介助を目的とした支援員を小学校に配置しました。
- 部活動指導員配置事業 220 生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促すため、中学校に部活動指導員を配置し、部活動の充実を図りました。
- ICT授業支援教員配置事業 2,654 学校教育課にICT授業支援教員1名を配置し、各学校に週1日以上出向き、令和3年度から本格運用を始めた1人1台端末を活用した授業の支援を行いました。
- 教育ファシリテーター配置事業 3,037 学校教育課に教育ファシリテーター1名を配置し、行政組織との連絡調整や地域学習等の教材開発を通じた「酒々井学（ふるさと学習）」の学習プログラムを作成・実施するとともに授業への支援を行いました。
- スクールバス運行業務委託事業 16,512 酒々井小学校の遠距離通学の児童に対して、町ふれ愛タクシーをスクールバスとして委託し、馬橋、墨、伊篠、伊篠新田地区等の児童の交通手段を確保しました。なお、平成29年度からは、町ふれ愛タクシー（3台）と町所有車（1台）の合計4台で運行し

ています。

- 教科用図書・指導書購入事業 4,052 中学校で使用する教科用図書が4年に1度大幅な改訂するにあたり、学校の教職員が使用する指導書を購入します。また、1人1台端末等を使用した授業に対応するための指導者用デジタル教科書を配備しました。
- 人権・同和教育研究補助金 200 人権・同和教育の推進を図るため、町教育委員会が指定した小学校又は中学校の研究指定校に対し、研究活動費として補助金を交付しました。
- 保小中連携事業活動補助金 240 保育園(こども園)・小学校・中学校で相互の連携を促進し、接続の円滑化を図ることにより、生徒指導や学習指導を継続的に実施します。小一プロブレム、中一ギャップの解消にもつながる連携活動に対して補助金を交付しました。

◆児童生徒国際交流振興事業(9-1-2-3) 20,211(22,830)

【その他特財：6,789 一般財源：13,422】

【事業概要】目標②

【外国語教育】

- 外国語指導助手(A L T：3人) 13,376 小・中学校にA L T(外国語指導助手)を1名ずつ配置し、ネイティブな英語にふれることを通して、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童生徒の確かな学力を育みます。さらに保育園(こども課：業者委託 週1回 3～5歳児対象)で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施しました。

【国際交流事業】

- 派遣事業 6,778 酒々井中学校生徒をドイツへ派遣し、ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力等のコミュニケーション能力を育成します。また、その国の文化や言語、生活習慣などを学び、異文化理解を深めました。

◆ふれあい教室運営事業(9-1-2-4) 2,883(2,785)

【一般財源：2,883】

【事業概要】目標②

教育委員会に教育支援センター「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を取り入れ、集団適応と学校復帰を支援しました。

◆学校図書館推進事業(9-1-2-16) 1,772(1,752)

【一般財源：1,772】

【事業概要】目標②

各小・中学校図書館に学校司書を配置し、児童生徒の生涯にわたる読書習慣の育成と学校図書館の活用推進を図ります。また、町立図書館と学校図書館が連携し、学校図書館の機能の充実と児童生徒の図書館活用のための支援を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業(学校教育課)(9-2-2-1) 6,197(8,023)

【国県支出金：265 その他特財：167 一般財源：5,765】

【事業概要】目標②

○酒々井小学校水泳指導委託事業 3,947 酒々井小学校のプールは老朽化により使用できないため、施設の借用及び水泳指導（送迎を含む）を民間企業に業務委託しました。

○豊かな心を育むＣＴＳプラン事業補助金 90 学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。

（注）ＣＴＳは、Child, Teacher, School・Society の略。

○要保護・準要保護就学援助費支給事業 1,659 経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（酒々井小）（9-2-2-2） 3,765（3,854）

【一般財源：3,765】

【事業概要】目標②

○酒々井小学校教育活動の充実 2,249 酒々井小学校の教材備品や学校図書の充実を図ります。購入する備品や図書を学校が選定しました。

◆大室台小学校教育振興事業（学校教育課）（9-2-2-3） 1,647（3,096）

【国県支出金：155 その他特財：140 一般財源：1,352】

【事業概要】目標②

○豊かな心を育むＣＴＳプラン事業補助金 90 学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。

○要保護・準要保護就学援助費支給事業 842 経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆大室台小学校教育振興事業（大室台小）（9-2-2-4） 3,682（3,727）

【一般財源：3,682】

【事業概要】目標②

○大室台小学校教育活動の充実 2,245 大室台小学校の教材備品や学校図書の充実を図ります。購入する備品や図書を学校が選定しました。

◆中学校教育振興事業（学校教育課）（9-3-2-1） 6,358（9,567）

【国県支出金：222 その他特財：169 一般財源：5,967】

【事業概要】目標②

○パワーアップE助成事業 377 国際交流及び国際理解教育を推進する中で、さらに英語力の向上を図るため、町立中学校3年生の全生徒に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

○中学校部活動事業補助金 1,000 中学校の部活動の中で大会などへの参加に要する費用等を援助するため、中学校に補助金を交付しました。

○豊かな心を育むＣＴＳプラン事業補助金 135 学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、中学校に補助金を交付しました。

○要保護・準要保護就学援助費支給事業 3,333 経済的理由により、就学困難と認められる生徒の保護者に対し就学援助を行いました。

◆中学校教育振興事業（酒々井中）（9-3-2-2） 4,160（4,325）

【一般財源：4,160】

【事業概要】目標②

○酒々井中学校教育活動の充実 2,245 酒々井中学校の教材備品や学校図書の充実を図ります。購入する備品や図書を学校が選定しました。

◆給食センター管理事業（9-5-3-2） 3,251（2,479）

【一般財源：3,251】

【事業概要】目標②

学校給食センターの運営及び施設設備の維持管理を行いました。令和7年度は、2学期（9月1日）から富里市学校給食センターへ調理等業務を委託したことから、1学期（7月末）までは通常業務を行い、8月以降は、給食費の収納管理や最低限の施設の維持管理を行いました。

○施設設備保守点検委託料 1,362 ○給食費収納管理システム賃借料 770 ○各種検査等手数料 170

◆給食事業（9-5-3-3） 217,845（225,389）

【国県支出金：42,595 その他特財：41,847 一般財源：133,403】

【事業概要】目標②

児童・生徒の心身の健全な発達に資することを目的に給食を提供しました。また、学校給食を通じて児童・生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養うとともに、地域社会の環境や文化、栄養改善及び健康の増進、社会性や食事のマナーを身につける等の教育を推進しました。

令和7年度は、2学期（9月1日）から富里市学校給食センターへ調理等業務を委託したことから、1学期（7月末）までは通常業務を行い、8月以降は新規に「学校給食事務負担金」（富里市への負担金）を主な歳出経費として設け支出しました。

○学校給食賄材料費 53,863（うち地元産食材購入及び物価高騰対策分 41,718）

○中学生学校給食費無償化事業（半額無償）10,252

○第3子以降学校給食費免除制度 2,566

○学校給食事務負担金 136,779（富里市学校給食センター施設整備 1,755、食器・食缶等新規購入 52,211 調理業務委託 45,182、賄材料費 29,940（9月以降：米・牛乳を除く）

■生涯学習課

◆社会教育一般事務費（9-4-1-1） 2,261（3,302）

【国県支出金：334 一般財源：1,927】

【事業概要】目標②

○成人の祝い（20歳）は式典・二十歳の方主催による「二十歳のつどい」を開催しました。

○家庭教育は家庭教育の充実を図るため、家庭教育指導員による家庭教育相談や小学校就学前の保護者、小・中学校の保護者を対象にそれぞれの家庭教育学級を開設しました（ローズマリー学級・酒々井小学校家庭教育学級・大室台小学校家庭教育学級・酒々井中学校家庭教育学級）。

○全ての保護者が安心して子育てを行える体制を構築するため、教育委員会と福祉部局が連携して、家庭教育支援チームを運営しました。

○人権教育：人権教育を推進するため、人権教育セミナーを開催して人権意識尊重の精神の涵養に努めました。人権教育セミナー（年間6回開催）

◆学校教育支援促進事業（9-4-1-2） 1,862（2,547）

【国県支出金：1,137 一般財源：725】

【事業概要】目標②

- 地域学校協働本部：町立各小・中学校に学校と地域ボランティアの調整役であるコーディネーターを配置するとともに、地域ボランティアとコーディネーターの活動拠点である地域ルームを設置し、学校と地域の協働により、教育活動の充実に努めました。
- 地域未来塾：中学生に対して元教員などの地域住民の協力を得て学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、学習支援を行いました。（年29回開催）
- 学校関係者、地域関係者、保護者が当事者意識を持って学校の教育活動に関わり、学校を拠点にした子ども中心の教育を推進するため、学校運営協議会の導入を検討しました。

◆土曜日の教育支援体制等構築事業（9-4-1-3） 818（1,733）

【国県支出金：265 一般財源：553】

【事業概要】目標②

- こども青樹堂（3・4年生、5・6年生）子どもたちの豊かな人間形成を育むことと確かな学力の定着を目的として、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場を開設しました。酒々井小学校・大室台小学校児童を対象とした補習と講座…年15回程度開催



◆文化財保護一般事務費（9-4-2-1） 1,702（1,678）

【国県支出金：24 その他特財：677 一般財源：1,001】

【事業概要】目標②

文化財保護法に基づき、町内の所々に所在する埋蔵文化財等の管理・調査・保存及び町内指定文化財等に係る調査・保護・整備等について随時行いました。

◆文化財施設管理事業（9-4-2-12） 1,008（790）

【一般財源：1,008】

【事業概要】目標②

文化財の保護・利活用の一環として、文化財の保護・管理・普及に係る施設・設備について整備・管理・運用・修繕を行いました。

◆本佐倉城跡保存整備事業（9-4-2-13） 8,437（8,400）

【一般財源：8,437】

【事業概要】目標②

国指定史跡本佐倉城跡の保存・活用のための史跡整備事業を行いました。令和7年度は東山等の危険木・障害木の一部伐採を継続して行いました。周知・普及事業としては、案内所の運営を中心に、案内所等で配布するパンフレットの増刷や佐倉市と共催で城跡見学会を行ったほか、継続して本庁舎

入口における調査概要展示、公民館での町の通史展示を行いました。

◆**墨古沢遺跡保存整備事業（9-4-2-14） 60,968（50,540）**

【地方債：45,600 一般財源：15,368】

【事業概要】目標②

令和元年10月に日本最大級の旧石器時代の「環状ブロック群」として国指定史跡となった墨古沢遺跡について、今後の保存・整備・利活用に向けた保存整備事業を進めました。令和7年度は、これまでに策定が行われた『保存活用計画』『整備基本計画』を基に史跡の活用を推進するため、史跡隣接地の公有地化を継続して行いました。

周知・普及事業としてはコミュニティプラザでの展示会を継続して実施しました。

◆**公民館管理事業（9-4-3-1） 15,253（15,750）**

【その他特財：1,208 一般財源：14,045】

【事業概要】目標②

中央公民館の維持・運営をするための経常的経費です。

- 光熱水費 3,044（電気・ガス・水道）
- 設備の保守管理委託等 6,123（清掃・消防・冷暖房・エレベーター・自動ドア・警備等）
- 窓口職員報酬・共済費 5,108
- その他 978（電話代・修繕料・コピー代・消耗品代等）

◆**公民館活動事業（9-4-3-2） 6,755（8,116）**

【その他特財：33 一般財源：6,722】

【事業概要】目標②

酒々井町町民大学青樹堂（公民館主催事業）を中心として、各種講座を開催しました。詳しくは、広報ニューしすい等でご案内しました。

- 【酒々井町青樹堂】 ○町民大学青樹堂（2年制） ○町民大学院青樹堂（1年制）
○短期間講座（趣味・教養など） ○町民文化祭、公開講座など

◆**青少年健全育成事業（9-4-4-1） 12,153（3,065）**

【国県支出金：65 一般財源：12,088】

【事業概要】目標②

青少年健全育成を図るため、青少年相談員事業として青少年の健全育成に関する各種事業を開催しました。

- 青少年相談員事業は防犯パトロール・釣り大会・伝統文化教室（たこ作り教室・たこあげ大会）・星空の映写会・星空の観察会等、青少年健全育成に寄与するイベントを実施しました。

◆**青少年交流事業（9-4-4-2） 1,130（1,506）**

【その他特財：400 一般財源：730】

【事業概要】目標②

北海道陸別町児童交流事業：日本有数の星空などの観光資源や美しい自然環境の中での体験学習

を北海道陸別町で実施するとともに、陸別町児童との交流を図りました。

◆同和対策集会所事業（9-4-5-1） 431（794）

【一般財源：431】

【事業概要】目標②

- 学力向上学級やふれあい生け花教室を実施し、地域の小中学生の成長や地域の方の心の潤いや支え合える仲間づくり等に寄与しました。
- 地域のつながりやより良い人間関係をつくることに寄与する拠点として集会所を活用しました。

◆プリミエール管理事業（9-4-6-1） 24,311（25,546）

【その他特財：4,600 一般財源：19,711】

【事業概要】目標②

プリミエール酒々井を快適かつ安全に利用できるよう、維持・管理運営・修繕を行います。

- 光熱水費 13,045（13,806） 電気・ガス・上下水道
- 施設維持管理費 10,101（10,740） 保守・点検等を行いました。
- 修繕料 1,164（1,000） 施設の修繕を行いました。

◆プリミエール運営事業（9-4-6-3） 21,296（20,295）

【その他特財：106 一般財源：21,190】

【事業概要】目標②

プリミエール酒々井は、文化芸術をはじめとする生涯学習の向上及び推進を図るための文化ホールと図書館を併設した文化施設であり、町民の生涯学習の場、交流の場としての情報発信施設となるように運営しています。

- 会計年度任用職員報酬 10,118（8,967） 司書助手5名、文化ホール機器操作員2名
- 図書館資料等購入費 5,065（5,038） 町民の読書や多様な学習要求に応えるため、図書や電子書籍コンテンツ、CD・DVD、新聞・雑誌など、蔵書の充実を図りました。
- 図書館情報システム賃借料 3,606（3,606） 図書館情報システムにより、利用者の利便性向上及び情報提供に努めました。
- 自主事業費 400（428） オータムコンサート、しすいリッチハートコンサート、しすい音色の輪コンサート等を開催しました。

◆保健体育活動事業（9-5-1-1） 6,522（6,544）

【その他特財：75 一般財源：6,447】

【事業概要】目標②

生涯スポーツを推進するため、各種スポーツ教室・大会や、軽スポーツの体験の場を提供しました。
また、順天堂大学と連携しながら公開講座など各種事業を実施しました。

1 各種大会

大 会 名	回 数	実施時期
野球大会	年2回	4月・9月
卓球大会	年2回	5月・11月
ウォークラリー大会	年1回	5月
インディアカ大会	年1回	6月
印旛郡市民スポーツ大会	年1回	7月
ソフトテニス大会	年1回	8月
町長杯少年野球大会	年1回	9月
町スポーツ・レクリエーション祭	年1回	10月
テニス大会	年1回	10月
ソフトボール大会	年1回	11月
バドミントン大会	年1回	11月
ゴルフ大会	年1回	11月
印旛駅伝競走大会	年1回	12月
町駅伝競走大会	年1回	1月
町長杯少年サッカー大会	年1回	3月

2 各種教室

教 室 名	実施時期	対 象 者
剣道教室	通年	小学生以上
柔道教室	通年	小学生以上
空手道教室	通年	小学生以上
サッカー教室	通年	小学生以上
テニス教室	5月・9月	20歳以上
カヌー教室	6月	小学4～6年
水泳教室	7月	小学生
ライトスポーツクラブ	通年	小学生以上
順天堂大学公開講座（親子スポーツ教室）	10月	小学生親子
順天堂大学連携「おとな」もスポーツテスト	11月	成人・高齢者

◆体育施設管理事業（9-5-2-1） 355（369）

【一般財源：355】

【事業概要】目標②

体育施設の維持・運営をするための経費です。

除草・トイレ清掃業務委託、水道代、消耗品、原材料等

■国民健康保険特別会計 1,884,110 (1,968,496) (健康福祉課)

【国県支出金：1,331,903 一般財源：139,187 保険税：412,284 基金繰入金（繰上充用）：736】

【事業概要】

1 被保険者数 3,466 人 世帯数 2,481 世帯

2 保険給付等 1,312,923

相互扶助の精神に基づき、加入者が保険税を公平に拠出することにより、病気、けが、出産及び死亡による経済的な負担を補うための保険給付などを行いました。

3 保健事業 24,612

被保険者の健康増進並びに医療費の適正化を図るため、糖尿病などの生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドロームの該当者などを減少させるため、特定健康診査及び特定保健指導を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の一部を助成しました。



○特定健康診査 11,592 (対象者数 2,919 人 受診者数 794 人 受診率 27.2%)

○特定保健指導 693 (対象者数 119 人 実施者数 29 人 実施率 24.4%)

○人間ドック費用の助成等 12,327 (対象者数 2,919 人 受診者数 328 人 受診率 11.2%)

4 国民健康保険事業費納付金 488,658

国民健康保険制度の広域化により平成 30 年から運営主体となった県に対し、各市町村の医療費水準や所得水準などを基に決定された国民健康保険事業費納付金を納付しました。

■介護保険特別会計 1,785,165 (1,702,135) (健康福祉課)

【国県支出金：619,255 一般財源：255,425 保険料：877,877 その他：32,608】

【事業概要】

1. 要介護認定事業 (15,207 千円)

要支援・要介護認定申請者に対して、訪問調査及び介護認定審査会で要介護度判定を行いました。

*審査会 24 回

*認定件数 延べ 951 件

*認定状況

・非該当	14 件	・要介護 1	217 件
・要支援 1	106 件	・要介護 2	173 件
・要支援 2	112 件	・要介護 3	102 件
		・要介護 4	178 件
		・要介護 5	100 件

*基本チェックリストによる判定 7 人



2. 介護サービス等給付事業 (1,612,607 千円)

要支援・要介護認定者 1,039 人 (令和 8 年 3 月末現在) に対し、保険給付を行いました。

*施設サービス 582,120 千円 *高額介護（予防）サービス 38,278 千円

*居宅サービス 957,142 千円 *特定入所者介護（予防）サービス 28,063 千円

*審査支払手数料 1,322 千円 *高額医療合算介護（予防）サービス 5,682 千円

3. 介護予防事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業 (50,288 千円)

要支援の認定者及び基本チェックリストの実施により、生活機能の低下が見受けられた方(事業対象者)を対象に、次のサービスを実施しました。

* 訪問型サービス	12,107 千円
* 通所型サービス	33,332 千円
* 高額介護予防サービス	68 千円
* 高額医療合算介護サービス	100 千円
* 介護予防ケアマネジメント	4,681 千円

(2) 一般介護予防事業 (1,061 千円)

高齢者が地域で継続して自立した生活を送れるよう一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援しました。

また、地域で介護予防に取り組む活動を支援しました。

ア 介護予防普及啓発事業 492 千円

介護予防の普及・啓発や各種の教室を行いました。

対象：活動的な状態にある高齢者

開催教室：10 講座 実施回数：26 回 参加人数(延べ)：380 人

イ 地域介護予防活動支援事業 569 千円

- ・地域で自主的に介護予防に取り組むサークルなどの活動を支援するため、希望するサークルなどに講師を派遣するとともに、地域での介護予防を広げるために、しすいハート体操の普及および介護予防グループのリーダー養成を実施しました。

出前健康講座 5 回開催 参加人数(延べ) 65 人

- ・65 歳以上の方が介護保険施設でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進を図りました。

登録者数：36 人

4. 包括的支援事業 (33,900 千円)

地域包括支援センターを設置し、高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療等の向上、生活の安定等のため、相談事業等の必要な支援を行いました。

(1) 地域包括支援センターの運営 委託料： 29,073 千円

(2) 在宅医療・介護連携推進事業 282 千円

(3) 生活支援体制整備事業 1,075 千円

(4) 認知症総合支援事業 3,413 千円

(5) 地域ケア会議推進事業 57 千円

* 総合相談業務	1,409 件
* 権利擁護業務	40 件
* ケアマネジメント支援業務	89 件
* 基本チェックリスト該当者支援	8 件

5. 家族介護慰労金支給事業（200 千円）

要介護 3 以上の在宅で介護保険のサービスを受けていない方を介護しているご家族を対象に、慰労金（年額 10 万円）を支給しました。

＊令和 7 年度 2 件 200 千円

■後期高齢者医療特別会計 439,416（425,770）（健康福祉課）

【一般財源：2,423 その他：436,993(内保険料 379,068)】

【事業概要】

75 歳（一定の障害のある方は 65 歳）以上を対象とした後期高齢者医療制度について、千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、窓口業務を適切に行いました。

千葉県後期高齢者医療広域連合は、県内の 54 市町村が共同で組織する団体で、被保険者の認定、保険料の決定、医療の給付など制度の運営全般を行います。市町村は、保険料の徴収や各種申請・届出の受付、保険証の発行又は交付などの窓口業務を行いました。

○被保険者数：4,201 人

